

10/15~

## 災害情報 メール配信



市は、10月15日（金）9時から（予定）、岩手県の携帯電話向け情報配信システム（いわゆるモバイルメール）を活用し、災害情報などを携帯電話に配信するサービスを開始します。

配信登録の開始は10月8日（金）9時からの予定です。配信希望者は、下記により登録してください。

### 配信する情報

①防災情報	新規
②火災情報	10/15~
③イベントなどのお知らせ	配信中

### 登録方法・10/8~

登録方法は次の2通りです。携帯電話からアクセスした後は、画面に従って登録してください。

●URLを入力する  
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0212/mobile-mail/>

●QRコードを読み取る



【注意】携帯電話で受信拒否の設定をしている方は、「mail.highway.pref.iwate.jp」と「pref.iwate.jp」ドメインからのメールを受信できるように設定してください

### 利用上の注意

- 情報は無料ですがメール受信などに通信料（パケット代）がかかります
- システムや携帯電話の状況により、配信が遅れる場合があります
- メールが不達となった登録アドレスは、配信停止措置がとられます

消防防災課 ☎52-2173



市内各地区で敬老会

## 感謝込めて 長寿を祝う



笑顔の出席者。敬老会は元気の源です（小久慈地区）

9月、75歳以上の方を対象に、市内各地区で敬老会を開催。人生の先輩方に感謝を込め、長寿を温かく祝いました。トップを切って開催したのは9月4日の小久慈地区。会場の市内催事場には、75歳以上の121人が集まりました。主催した小久慈まちづくり協議会の水上貴一会長は「感

動を分かち合う敬老会になればうれしいです」とあいさつ。乾杯後は、各地区婦人部と地元園児や小・中学生が踊りなどを披露し、盛り上げました。温かなもてなしに笑顔を広げる出席者。各テーブルでは思い出話や近況を語り合い、元気な声を響かせていました。本年度米寿を迎える21人を代表し、金杯を受けた林下久兵衛さんは「病気もなく元氣。祝ってもらえてうれしいです」とニコリ。山本チヨさんは「敬老会が楽しみ。みんなと話し、子どもたちの発表も見て元気をもらいました」と喜んでいました。

8月末現在、75歳以上の方は5131人で、うち100歳以上の方は12人。最高齢は109歳の笹原シナさんです。



マンドリン音楽50周年記念事業

## 根付いたマンドリン これからも



50年に思い込めて

昭和31年、久慈中学校卒業生が恩師の北田隆三先生（故人）にマンドリンを贈ったことから始まったマンドリンの歴史。記念事業にはマンドリンを愛する方たちの熱い思いが込められていました。節目を迎えたマンドリンは今後も広がり続けることでしょう。

上/開催準備を進めた皆さん  
中・下/懐かしいパネルに見入る来場者

久慈市にマンドリン音楽が誕生してから約50年。久慈カルチャーステーション（小柳正人理事長）と、久慈マンドリーノ（嵯峨喜代志代表）は9月2日、マンドリン音楽50周年を記念したパネル展と、明治大学マンドリン倶楽部演奏会をアンバーホールで開催。マンドリンを愛する約800人が会場に足を運びました。懐かしいパネルの前で、思い出話に花を咲かせる来場者。トップレベルの学生が奏でる美しい調べが響きわたったホールは、何度も大きな拍手でいっぱいになりました。

久慈中マンドリン部の吉田叶奈さん（2年）は「想像以上に美しいメロデー。もつ



見事な演奏と演出で観客を魅了した明大マンドリン部

と練習して上手になりたいです」と目を輝かせていました。嵯峨代表は「これからも久慈に根付いたマンドリンを盛り上げていきたいです」と熱い思いを語っていました。同事業には市の地域コミュニティ振興事業が活用されています。

## 医療費助成 父子家庭も対象

市民課 ☎52-2118

**10月から拡大!**

これまで、母子家庭の方などが対象となっていた医療費助成の対象が拡大。10月1日から、父子家庭の方も助成の対象になりました。

申請をしなければ、助成を受けることはできませんので、該当すると思われる方は市役所で手続きを行い、受給者証の交付を受けてください。

医療費助成の対象や内容などは次のとおりです。詳しくはお問い合わせください。

▼助成対象者（父子家庭）  
母親がいない、または母親に一定の障がいがあるなどの理由で、子ども（※）を扶養している父親とその子ども。ただし所得状況により助成を受けられない場合

▼助成の内容  
医療保険で診療を受けたときに支払った自己負担額から医療機関・薬局ごとに外来はひと月1500円、入院はひと月5千円を差し引いた額を助成。病院によっては歯科は別計算。薬局は処方せんを受けた医療機関ごと）未就学児については、自己負担額を助成します。

※入院時の食事代など、医療保険対象外の費用は、助成されません

▼申請場所  
①市民課（市役所1階）  
②山形総合支所住民生活課

▼申請に持参するもの  
印鑑、保険証、通帳など

## 平庭闘牛大会しらかば場所 大会再開 大迫力に歓声沸く



牛が全力で角を突きあう瞬間は大迫力!

口蹄疫の関係で、6月のつじ場所開催を自粛した平庭闘牛大会が再開。8月29日、同大会しらかば場所が平庭高原闘牛場で開かれました。会場には大会再開を待ちにまいった闘牛ファンが750人。期待に胸をふくらませた観客は、開会前から闘牛場に熱い視線を注いでいました。

開会式で、いわて平庭高原闘牛会の松坂義雄会長は「口蹄疫の終息を受け、本大会を開催することができました。牛たちは皆、たくましい仕上がりです。きっと皆さんの期待にこたえられると思います」と力を込めてあいさつ。続いて2歳牛同士のデビュー戦5番を含む、全13番の取り



宮城県気仙沼市から夫婦で 加藤正勝さん 朋美さん  
宮城県仙台市から夫婦で 篠原良太さん 裕子さん

組みが始まりました。500から100を超え、牛たちが、全力を注いでいました。特に、雷太と平庭嵐による結びの一番は白熱し、巨体がつかり合うたびに、会場は大きな拍手と歓声で沸きました。次回の同大会もみじ場所は、10月17日（日）11時から開催予定です。本年度最後の闘牛大会です。皆さんぜひご来場ください。

牛が心配になるくらいの大迫力！近くで見られて良かったです！



牛を操る勢子も気合い十分